

2024年6月17日(月)

特急「鎌倉」号に乗って

先週の日曜日6月9日、臨時特急列車「鎌倉」号に乗って来ました。「路線図にない貨物線を走行！」という言葉に惹かれ、西国分寺から鎌倉まで特急「鎌倉」に乗車しました。しかも、今回は奮発して先頭車両のグリーン車に。

「鎌倉」号は、武蔵野線の吉川美南から鎌倉までを武蔵野線～武蔵野南線（貨物線:今回の目玉!）～東海道本線～横須賀線を走行する電車で、この季節は土・日曜日と金曜日に1日1往復しています。「鎌倉」号のルーツは、1990年に運転が始まった「ホリデー快速鎌倉」で、2021年からは武蔵野線・吉川美南駅発着となり、2022年には特急に格上げされました。現在の車両はE653系の淡い青色（「水色フレッシュひたち色」）の車体の7両編成です。「鎌倉」号のグリーン車は1列+2列の3列シートで「普通車2席分」を1席分としているため、一般的なグリーン車のシートピッチ(1160mm)より広い1820mmのリクライニングシートとなっています。

西国分寺駅を8時34分に出た「鎌倉」号は府中本町駅まで武蔵野線を走り、ここからが武蔵野南線と呼ばれている貨物線で大部分がトンネルです。途中でいくつもの貨物専用列車とすれ違いながら新鶴見機関区付近を通った後、横須賀線に並行して進み、鶴見駅付近に到着しました。鶴見駅では、ホームのない線路上で乗務員交代が行われるも鉄道ファンの間で知られているそうです（何も知らない私はポーっと、手を振る駅員を眺めていました）。こうして紫陽花目当ての乗降客で混在する北鎌倉を経て、4分遅れで9時40分に鎌倉駅に到着しました。



なお、JR 東日本の「えきねっと」を使えば 35 %割引の「在来線チケットレス特急券(トク割)」となっており、グリーン車で 2,150 円、これに乗車券代 1,100 円が必要です。



ラウンジ



グリーン車



普通車



JR貨物、新鶴見機関区



北鎌倉、円覚寺門前の白鷺池

校長 石飛 一吉